

届けます 未来に安心

# 水道水



第四十五回「水道週間」が、この6月1日から7日まで実施されます。この機会に普段ごく当たり前に使っている水道水についてみんなで考えてみませんか。

## この週間では・・・

- ①地震に強い水道づくり
  - ②喝水や水需要の増大に対処するための、水源開発の必要性や節水の重要性への理解
  - ③安全で良質な水道水の供給確保をするため、水道水源の水質保全や高度浄水施設の整備についての理解と協力
  - ④規制緩和後の新たな給水装置に関する制度への理解と協力
  - ⑤水道料金等について、正しい知識を提供し、理解を得る
- 等々の実施目標を掲げています。

## 私たちのくらしと水道水

日々の暮らしのなかで水道水を使わない日はありませんね。・・・朝起きると顔を洗ったり、歯を磨いたり、お茶を飲んだり等々。でも、つつい便利なので水道の水をムダに使っていませんか。もし、水道の蛇口をひねっても、水が出なかったとしたら、どうなるでしょう。飲み水はもちろん、お風呂やせんたく、そして水洗便所など、今までの生活が不便になってしまいませんか。

私たちの家庭ばかりではありません。学校、工場や病院などのほか、とくに火事などがおきたとしたら大変なことになってしまいます。水道の水は私たちのくらしにとって、なくてはならない、とても大切なものなのです。

## 水道の水はどこからくるのか

富士見町の水道の水源は、川の水と地下水に分けられます。それらの水を様々な施設（浄水場）等を使い、常に水質の安全を検査し、安心して飲めるよう管理して配水しています。そして、配水池にたくわえられた水道の水は、網の目のようにはりめぐらされた配水管を通じて、私たちの家庭に送られてくるのです。

## 水は元気のもと

もともと人間は、食べ物などがなくてもすくなくらいは生きられますが、水がなくなると生きていけません。私たちにとって、水は大切なものです。また、しおれかけた植木鉢の花などの植物も、水を与えずにそのままにしておくと、たちまち枯れてしまいます。

でも、水を与えると元気を取り戻し、またきれいに花を咲かせたり、生き生きと生きてきます。

水が大切なのは人間だけではなく、植物や動物など、すべての生物は、水がなくては生きていけないのです。

一部、日本水道協会発行  
・水道の話シリーズより

## 水道工事にご協力を・・・

町では現在、施設の老朽化による設備の更新や下水道事業に伴う給水管布設替工事などを行っています。工事中は人や車の通行や騒音、断水等でご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

ご家庭等での給水装置の新設・増設・改造・修理・撤去などの工事を行うときは、必ず富士見町水道指定給水装置工事業者へお申し込みください。

## 下水道は正しく使いまじょう

日ごろ何気なく使っている水洗トイレですが、水に溶けない紙類やオムツ・生理用品などを流してはいけませんか。

水に溶けないものを流しますと、便器の内部でつかえたり、下水管の詰りの原因にもなります。

下水道には、下水のほかはトイレットペーパー以外、絶対に流さないようお願いします。

## 宅内の下水道接続はお済みですか

富士見町では河川や湖沼の浄化や住みやすい生活環境をめざして、下水道工事を進めています。

また、接続がお済みでないお宅は早めの接続計画をお願いします。なお、下水道工事は町指定の工事店（富士見町下水道指定工事店）に申し込みください。

接続工事はもとより、工事申請届から工事完了届等の手続き等、すべてこの指定店があなたに代わり行います。

■上下水道に関するお問合せは  
富士見町役場 上下水道課  
☎62-9354  
までどうぞ。